



しょう ぼう

消防の しごと



ほんばん
保存版



おおすみきもつき ち く しょうぼうくみあい
大隅肝属地区消防組合

1 おおすみきもつき ちく かんない しょうぼう し せつ 大隅肝属地区管内の消防施設



しょうぼう 消防のしごと

おおすみきもつき ちく しょうぼうくみあい おおすみはんとうちゅうおう ぶ しょうぼうほん ぶ
大隅肝属地区消防組合は、大隅半島中央部に消防本部
を置き、東西 46km、南北 70kmで南北に細長く、面積
1,160.91km²の広大な地域を管轄しています。九州には、
113 消防本部、鹿児島県には 20 消防本部があり、九州
で 2 番目に管轄面積の広い消防本部で鹿児島県で 1 番
広い面積。

また管内人口は県で 2 番目に多いです。
おおすみきもつき ちく しょうぼうくみあい し ちやう かの や し きもつきちやう
大隅肝属地区消防組合は、1 市 4 町（鹿屋市・肝付町・
東串良町・錦江町・南大隅町）の人口約 13 万人の生
命、身体、財産を守っています。

九州で
113
消防本部

鹿児島で
20
消防本部

しょうぼうしよ しょうぼうだん ちが 消防署と消防団の違い

【消防署】 24 時間体制で、火災、救急、救助を行っています。

【消防団】 ふだんは消防のお仕事はしていませんが、火災などが発生した時は、現場にかけつけて消火活動などを行っています。



おおすみきもつき
大隅肝属
ちく かんない
地区管内の
しょうぼう し せつ
消防施設

6カ所

しょうぼうほん ぶ 消防本部

・総務課 ・予防課 ・警防課 ・指令課

ちゅうおうしょうぼうしよ 中央消防署

(鹿屋市)



なんぶしょうぼうしよ 南部消防署

(錦江町)



さたぶんしよ 佐多分署

(南大隅町)

きほくぶんしよ 輝北分署

(鹿屋市)



とうぶしょうぼうしよ 東部消防署

(鹿屋市)



ひがしくし ちやう 東串良町

きもつきちやう 肝付町

うちのうらぶんしよ 内之浦分署

(肝付町)



2 通報から出動まで

消防自動車の出動のしくみをみましょう。



出動から到着まで 約9~10分!!

現場活動



119番通報の119はどうして119なの?

大正15年1月20日にダイヤル112番を火災報知専用電話にしました。一刻を争う緊急のダイヤルであるため、ダイヤル時間の短い番号として指定されたのですが、間違い電話が多く、昭和2年10月1日から局番の第1数字に使われていない9を使い、119番にしました。



日常の活動



3 おおすみきもつきちくかんない 大隅肝属地区管内の火災のようす

火災の発生件数

★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★

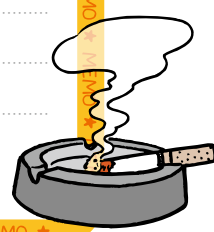
★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★



火災の原因

★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★

★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★

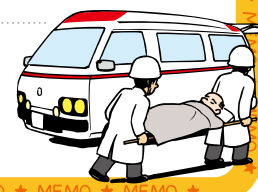


火災による死傷者

火災でなくなったり、ケガをした人

★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★

★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★ MEMO ★



4 しょうぼう 消防の三二知識 しょうぼう かんけい ひ 消防に関する日と内容

ぼうさい 防災と ボランティアの日	1月17日	1995年(平成7年)12月の閣議により制定。1995年(平成7年)1月17日の阪神・淡路大震災にちなむ。
ぶん か さいぼう か 文化財防火デー	1月26日	1955年(昭和30年)に当時の文化財保護委員会(現在の文化庁)と国家消防本部(現在の総務省消防庁)が制定。1949年(昭和24年)1月26日早朝に発生した、世界最古の木造建造物である法隆寺の火災が契機。
か さい よ ぼううんどう 火災予防運動 (春季)	3月1日～7日	はる ぜんこく か さい よ ぼううんどう よ 春の全国火災予防運動と呼ばれている。一部地域では地域の気 候特性に鑑み日程をずらして実施される。1989年に「消防 記念日を最終日とする一週間」と「119番の日を起点とする一 週間」に設定。実施期間は何度か変更された。1922年にアメ リカで制定された「火災予防週間(Fire prevention week)」 に由来。
しゃりやう か さい 車両火災 予防運動	3月1日～7日	しょうぼうちやう こく ど こうつうしやう きやうどうしゆしやう 消防庁と国土交通省の共同主催により、春季全国火災予防運動 とあわせて同期間に実施。車両交通の関係者及び利用者の火災 予防意識の高揚を図り、もって車両火災を防止し、安全な運送 を確保することが目的。
しょうぼう き ねん び 消防記念日	3月7日	1950年2月9日に国家消防庁(現在の総務省消防庁)により 制定。消防組織法が施行された1948年3月7日にちなんだもの。
き けんぶつあんぜんしやうかん 危険物安全週間	6月の第2週の 1週間	1990年(平成2年)1月19日に消防庁により制定。
ぼうさい ひ 防災の日	9月1日	1960年(昭和35年)、内閣の閣議了解により制定。1923 年(大正12年)9月1日に発生した関東大震災にちなんだもの。
きやうきやう ひ 救急の日	9月9日	1982年に厚生省(現在の厚生労働省)が制定。由来は語呂合 わせ。(救急=9/9)
つ なみぼうさい ひ 津波防災の日	11月5日	2011年3月11日の東日本大震災を受けて同年6月に制定さ れた「津波対策の推進に関する法律」にて制定。
119 番の日	11月9日	1987年に自治体消防発足40周年を機に、消防庁によって制 定。由来は語呂合わせ。(119番=11/9)
か さい よ ぼううんどう 火災予防運動 (秋季)	11月9日～15日	あき ぜんこく か さい よ ぼううんどう よ 秋の全国火災予防運動と呼ばれる。由来は「火災予防運動(春 季)」と同じ。一部地域で地域の気候特性に鑑み日程をずらし て実施される。



5 消防署のしごと

消防のしごとは大きく4つに わけられます。

けいぼう 警防

しょうぼうたい 消防隊

かじ 火事になったとき、火を消します。まち
なか 消防栓や防火水槽をいつでもつか
えるように調査、点検をします。



きゅうきゅうたい 救急隊

びょうき 病気の人やケガをした人を手当てしながら
びょういん 病院へ運びます。



とくべつきゅうじょたい 特別救助隊

かじ 火事や自然災害の時に人を助けたり、交通事故などで
くるま 車にとじこめられたり、はさまれている人を救出します。

つうしん 通信 しれい 指令

- 119 番通報を受けて、消防車や救急車を出勤させます。
- 火事や救急の場所を教えて、その場所に向かうように指示をします。また火事の際には、他に消防団や警察、役場などにも連絡をします。
- 病気やケガをしたとき、どこの病院に行けばいいのか教えたりしています。
- 代表電話の窓口になります。



よぼう 予防

- 建物を建てる時に事前にチェック
建物の種類によって必要な消防設備を建築主に知らせます。



- 建物の消防設備 (消火器や自動火災報知設備などの検査)

基準どおりに設置しているか、動作するか。

- 建物や危険物施設に対して立入検査をする。
火事の際、お客さんなどがスムーズに避難できるようにしたり、油などを取り扱う施設が基準どおり維持されているか検査します。

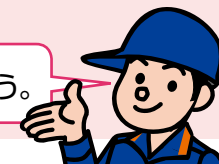
そうむ 総務

- 消防士の制服や消防車両など消防に必要なものを買ったり、消防署を建て替える計画を立てたりします。
- 職員の給料を払ったり、消防士がいつでも万全に活動できるように健康管理を行ったりします。



6 火災に備える消防の1日

火災や救急出動などがない時の消防士の1日を見てみましょう。



1日のはじまり

朝礼 午前 8:30

当直隊と非番隊と交替します。



ミーティング

昨日起こった災害や仕事の内容、今日の日程について打ち合わせをします。



仕業点検

車両や装備に異常がないか毎朝点検を実施します。



査察

お客さんや従業員を火災から守るための消防設備の維持や避難経路を確保するため立入検査を行います。

1日のおわり



音楽隊

管内のイベントで演奏活動を行っています。



救命講習

救命講習の他にも様々な講習を行っています。



避難訓練指導・講習

消火器を使って体験したり、火災予防のために必要な知識を学んでもらいます。

各種訓練

・救助器具を使つての訓練や放水しながら建物・救急についての訓練も行います。



救助



消防



救急



危険物施設の査察・検査

写真は給油取扱所(ガソリンスタンド)のタンクを地下に埋める時の検査です。



救助訓練

人を助けるために、日々訓練をしています。



うわ〜。

日も夜もがんばっているんだね。



7 消防で働く車

消防で働く車にはいろいろな種類が

あります。役割に応じて毎日活動しています。



はしご付消防自動車

高い建物の火災を消したり、人を助けます。



消防で働く車たち。みなさんが知っている車は何台あるかな？



救助工作車

特別救助隊が使用する車で、災害などで人を助けるための照明、クレーン、ウィンチを装備しています。東日本大震災や熊本地震にも、緊急消防援助隊として出動しました。



小型動力ポンプ付水槽車

大量の水を一度に火災現場に積んでいき、火事を消します。時には、給水活動にも威力を発揮します。(水は10トン積んでいます。)



水槽付消防ポンプ自動車

火事などの現場では、最前線で活動します。



化学消防車

水で消火できない油脂火災に対応します。



大型化学高所放水車

大型の化学高所放水車で石油コンビナートなどの重大な危険物火災に対応します。

泡原液搬送車



いろいろな種類があります。

消防で働く車と支援するヘリコプター



▲ 資機材搬送車

災害時に物資や活動に必要な資機材を運ぶ役割を果たします。



▲ 人員輸送車

大規模災害、特殊災害時に、資機材や多くの消防隊員を現場へ搬送します。



▲ 指揮車

火事などの災害が発生した時、現場の状況を把握するために出動したり、広報活動を行います。



▲ ドローン

災害時に被害状況の早期把握を行っています。



▲ 救急自動車

怪我をしたり、病気の人の応急処置をしながら病院などの医療機関へ搬送します。



▲ 鹿児島県消防・防災ヘリコプター

消防活動や救助活動を支援するためのヘリコプター。空中消火や救助、救急活動も行います。



▲ ドクターヘリ

救急医療の専門医及び看護師が同乗して搬送中も救命医療を行います。





へんしゅう はっこう おおすみきもつき ち くしょうぼうくみあい よぼう か
編集・発行／大隅肝属地区消防組合 予防課

〒 893-0015 かの や しんかわちよう ばん ち
鹿屋市新川町 800 番地



☎ 0994-52-1192 FAX 0994-40-0201

ホームページ <http://www.fd-kimotsuki.jp/>

がっこうめい
学校名



くみ

なまえ